

伊方原発の再稼働を許さないために

## 愛媛県知事あて緊急署名に

# ご協力をお願いします！



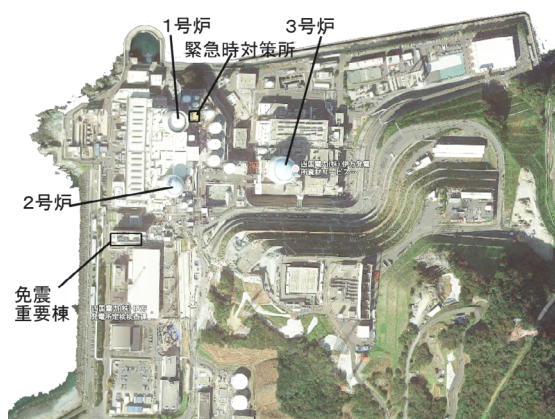
署名は、四国電力との間で安全協定をもつ愛媛県知事に次の二つを求めるものです。

- ① 伊方原発の再稼働を認めないでください。
- ② 住民の声を聴き、原発問題の本質を深める「公開討論会」を開催してください。

四国電力の伊方原発3号機を再稼働させないための取り組みは正念場です。

原子力規制委員会が7月15日に、3号機の「審査書」を決定。伊方町長は「安全性が確認された」と述べ、知事は住民討論の場を設けず対応しようとしています。国は知事と伊方町長に地元同意を要請。いっきに動きが早まっています。

伊方原発は、目の前に中央構造線活断層帯が走り、真下には南海トラフの震源域があります。地震や火山活動が静穏期から活動期に移っていることも脅威です。事故が起これば、伊方には汚染水のタンクを並べる場所もなく、瀬戸内海を死



免震重要棟は、基準地震動が50ガル増えただけで土台の柱の一部にヒビや剥離の起こる事が判明。2階にあった緊急時対策所は1号炉横に建て替え。今問題になっているのは50ガルどころか数千ガルもの過小評価です！

の海にしてしまう恐れが濃厚です。住民の避難は困難で被ばくを免れる保証はありません。

四国電力との安全協定をもつ中村知事に対し、再稼働を認めないことと共に、原発問題の本質を深める「公開討論会」を開催させましょう。

左図は、福井地裁判決が放射能被害を受ける可能性があることを認めた半径250キロで描いたもの。伊方原発の重大事故は、瀬戸内海だけでなく、西日本、さらには日本列島に深刻な汚染をもたらします。



■ 締切 9月30日 (情勢からして提出が急がれます。この日までに集めて、急いで下記まで届けて下さい。)

■ 署名用紙とチラシは、「伊方原発をとめる会」ホームページからダウンロードできます。

○署名用紙、チラシが必要な個人・団体は右記までご相談下さい。

○集った署名は、郵便・宅急便または持参で右記までお願いします。FAXでは送らないで下さい。

＜署名集約先＞ 伊方原発をとめる会  
〒790-0003 松山市三番町 5-2-3 ハヤシビル 3F  
Tel 089-948-9990 Fax 089-948-9991  
ホームページ <http://www.ikata-tomeru.jp>  
e-mail [ikata-tomeru@nifty.com](mailto:ikata-tomeru@nifty.com)